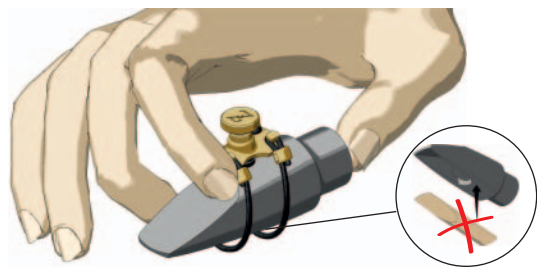


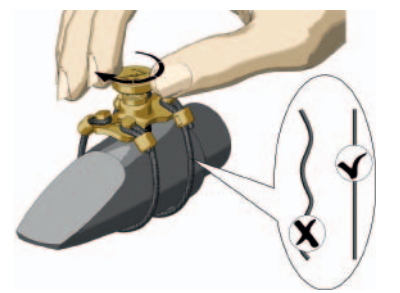
5 最初のご使用時について

ご購入後、初めてリガチャーをご使用になる際は、以下の1~3の手順に従ってコードを一度、マウスピースに合わせて下さい。

1. リードを付けずにリガチャーだけをマウスピースにはめ込みます。



2. スクリューを締め、コードがきちんととまっすぐ張るようにしましょう。



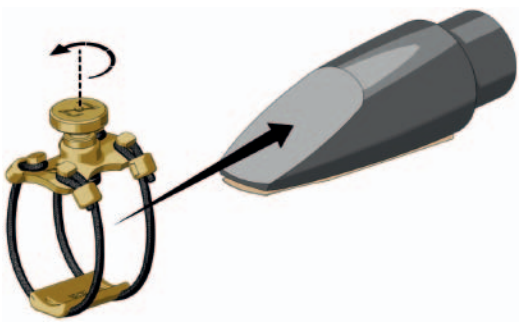
3. リガチャーを緩めてマウスピースから外し、今度はリードを付け、好みに合わせて取り付け、締め付けを行ってください("リガチャーの組立"ページ9-10参照)

6 リガチャーの組立

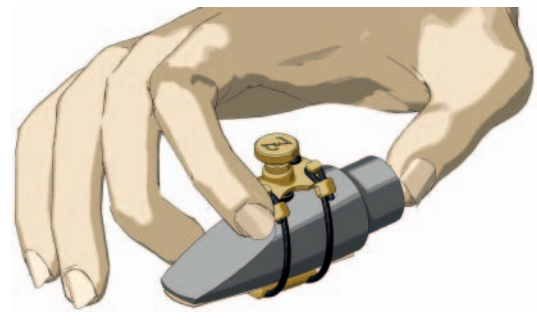
1. リードをマウスピースに合わせます。



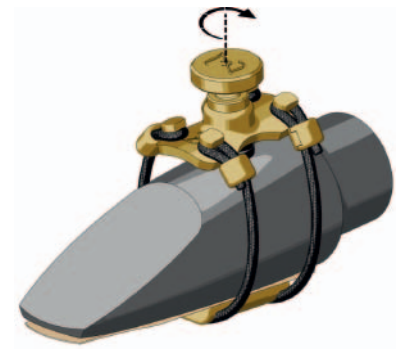
2. リガチャーをマウスピースにセットします。



3. スクリュー裏のラバー、コード、レゾネーターがそれぞれマウスピースやリードの中心に来るように、リガチャーを指で押し込みます。



4. スクリューを締め、コードの張りを調整します。

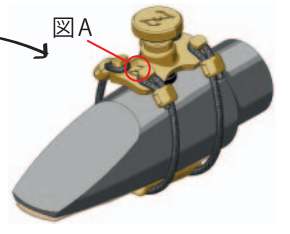


7 装着例

異なる音色効果を得る為に、通常とは違った位置にリガチャーを装着する事も出来ます。

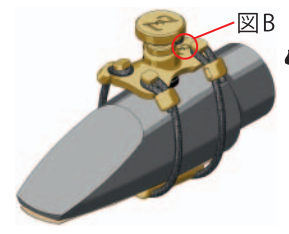
標準的なリガチャーの装着

"Z"ロゴがマウスピースの正面に来ている。1ページ目の説明や横の図Aを参照の事。



後ろ向きのリガチャーの装着

"Z"ロゴがマウスピースの根元に向いている。(図B) この装着方法では、コードの短いコードと長いコードは装着場所がリガチャー上で前後逆になります。



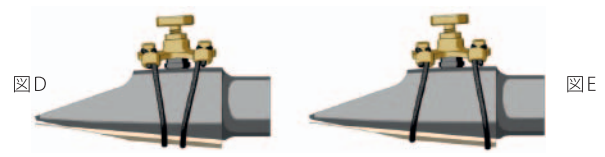
8 コードの装着位置

一度リガチャーが正しく装着されたら(9-10ページ参照)、リードに沿ってコードを違った位置に動かす事が可能です。

フロント側のコードはリードの硬さに影響を及ぼします。前方へ位置を動かすと、振動角が狭まり、リードが硬くなります。また、フロント側のコードをリードの中心、または後ろのコード方面へ位置を動かすと、リードの振動角が広くなり、リードが柔らかくなります。

バック側のコードはリードの響きに与えます。演奏者の好みにより位置を変えていただけます。

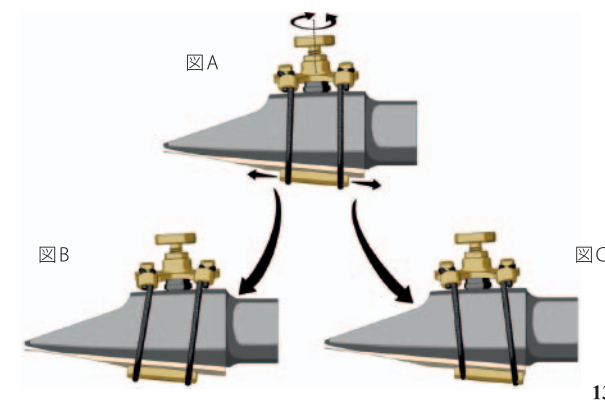
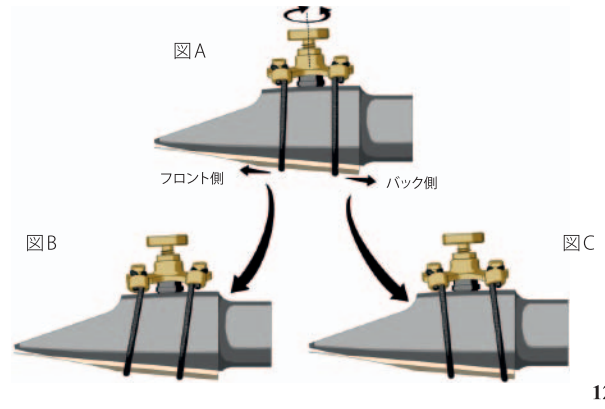
- 標準的なコードのポジション (図A)
- 両方のコードが前方向き (図B)
- 両方のコードが後方向き (図C)
- 両方のコードが内向き (図D)
- 両方のコードが外向き (図E)



コードの装着位置(レゾネーターがある場合)

この場合でも、コードとレゾネーターはリードに沿って違う位置に移動が可能です。

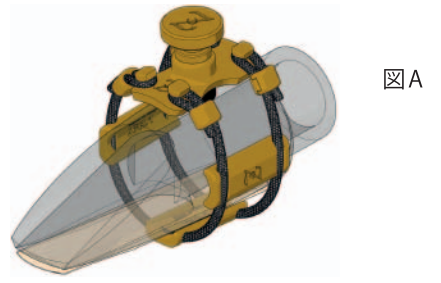
- コードとレゾネーターが通常的位置 (図A)
- コードとレゾネーターが前方向き (図B)
- コードとレゾネーターが後方向き (図C)



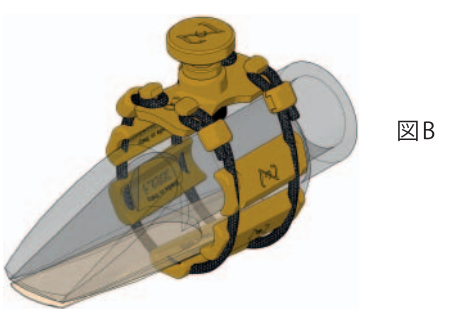
複数のレゾネーターの装着

異なる音色や振動を得る為に、同じコードに複数のレゾネーターを装着する事が可能です。(別売レゾネーター使用)

- レゾネーター 3個の場合 (図A)
- レゾネーター 5個の場合 (図B)



エボニー製でも同様に3~5個のレゾネーターを装着する事が可能です。

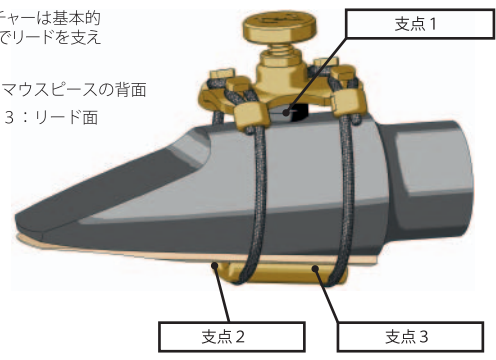


レゾネーターには異なるサイズがございますので、追加するレゾネーターは元になるレゾネーターのサイズを確認してから購入、装着して下さい。

9 リガチャーの効果について

ザックリガチャーは基本的に次の3点でリードを支えています。

- 支点1：マウスピースの背面
- 支点2、3：リード面



1) この3点サポートシステムはコードを締めるときに、前後のコードに均等に圧力がかかるようになっており、この為、リードが一番振動し易い状態となります。レゾネーター装着の有無に関わらずこの効果は得られます。

2) 異なるサイズのZコードに交換する事で、Zマシーンにはほぼ全てのクラリネット、サクソフォンに使用可能です。

3) 下記の、主な3つの装着方法により、異なるリードの音色や響きを得ることができます。

- ① コードのみ (とてもやわらかい音色)
- ② 真鍮やスターリングシルバー等の金属製レゾネーター (遠達性があり、芳醇で奥行きのある音色)
- ③ エボニー製レゾネーター (暖かみのある、バランスの取れた音色)